

* FDC 1

* 本体の組み直し (中)

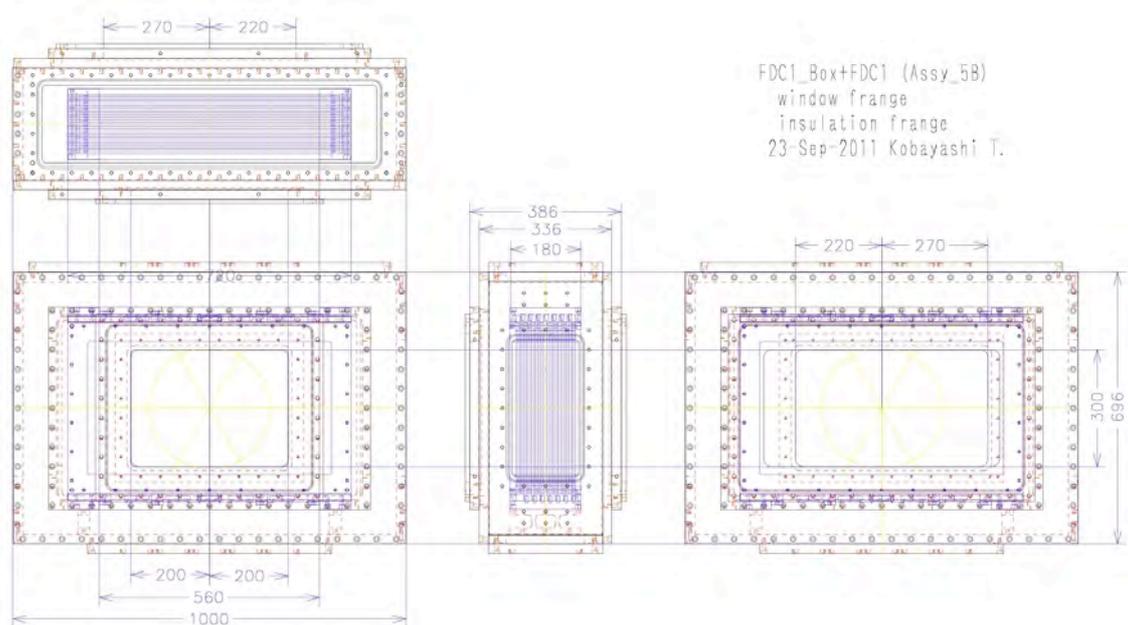
- * 以前本体を組み立てた時、G10 基板間のずれが最大 0.3mm 程度あった。これは G10 基板製作精度に自身がなかった為 (ロックピンがきつ過ぎると組立たない事がよくある)、 $\phi 10.5$ 穴に $\phi 10$ ピンを使った為。
- * $\pm 0.1\text{mm}$ のロックピンが準備できたので、本体を分解して組立直す予定。外箱から本体を引き出す作業はクレーンのある理研で行いたかったが、K14 クレーンが他に使われていて、学校で自作の簡易ホイストを使い引き出した。
- * 低圧動作の際、換算流量で 5-8L/min 程度を流したのでガスフォイルが心配だったが、20cc/min でもリターンがあり大丈夫のようだ。
- * 次週に分解+再度組立の予定 (?)。

* FDC 1 架台追加部品

- * 9/30(Fri)に理研に納品予定

* 真空窓フランジ/絶縁フランジ

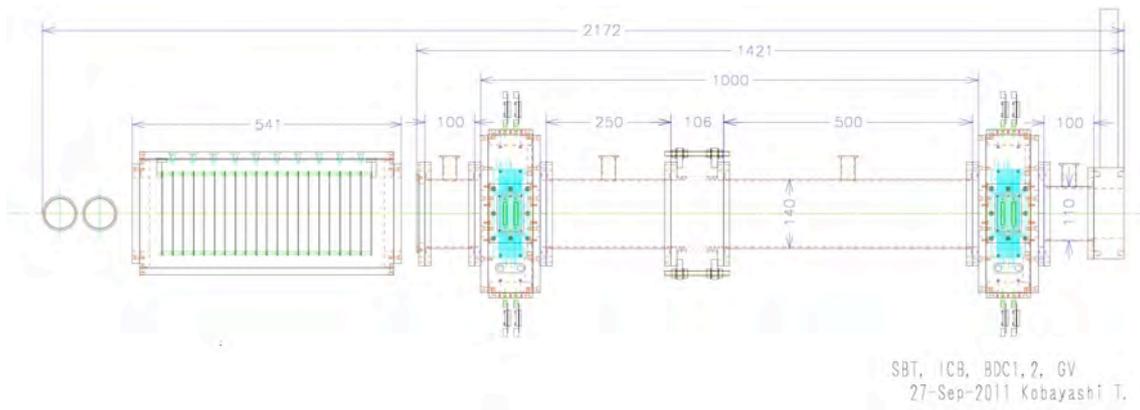
- * 外箱上流/下流の真空膜フランジ/絶縁フランジを決定：清水さんと相談。
 - * 上流側： $\pm 200\text{mm}$ (H), $\pm 150\text{mm}$ (V)
 - * 下流側： $+220\text{mm}$ - 270mm (H), $\pm 150\text{mm}$ (V)
- * 見積中



* FDC1 - GV 間の変換/ベローズフランジ

- * ベローズを入れるとビーム軸方向にのみ 10mm 調整可能で、他の 2 方向は調整不可。250-300 万円との見積 (清水)。
- * 位置は測量するという事で、ベローズは無しにする：清水、大津さんと相談。
- * ベローズ無の場合の厚さ $\sim 90\text{mm}$ ： 約 100mm 磁石側へよる。

- * BDC1, BDC2, GV 付近
 - * BDC2 下流の GV は DN100 とする：清水さんと相談
 - * 周辺のビームパイプ：
 - * OD140。アルミ製／アルミ溶接方式で見積中。
 - * 最下流（BDC2-GV）以外は高真空を必要としないので、アルミ溶接が高価の場合はスポット溶接＋接着剤方式にする。
 - * BDC1-BDC2 間隔は、1000mm, 850mm, 500mm 等に行き届くようにビームパイプ長を選ぶ。現在は 1000mm。
 - * 真空引口： NW25。
 - * BDC1, BDC2 間の調整用ベローズ(IF125)： 相談中。
 - * 回転方向自由度の吸収に若干問題が残る： 長穴(?)



- * HODF/HODP
 - * 不足／不良部品の手配
 - * まだクレーン移動方式の良いアイデア無し。
- * ICF 架台（千賀）
 - * 設計がだいたい終了
 - * ガイドレールは使わない。
 - * 床に固定したアングルをガイドにしてビーム垂直方向の位置を移動
 - * 精密な位置調整は考えない
- * PDC
 - * 来週、工場で組立予定
- * FDC2
 - * FDC2 架台の追加部品： 9/30 納品
 - * 本体：
 - * 遅々として進まず(林栄)。まだガス漏対策。
 - * あと1ヶ月くらいで引き渡されないと後の予定がきつい。
- * Beam MWPC
 - * 手持ちの外箱で低圧 1mm MWPC を試験する為のフランジを設計。 見積中。
- * Proposal
 - * Soft Dipole Resonance in Ca/Ni Region： 来週末 Ver1 準備目標。